

経営比較分析表（平成29年度決算）

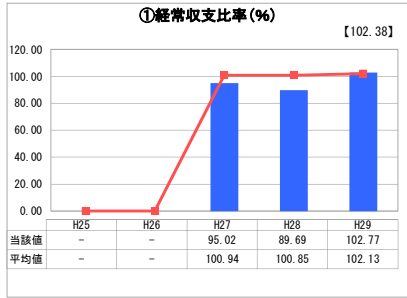
兵庫県 加古川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	37.52	2.64	86.69	2,484

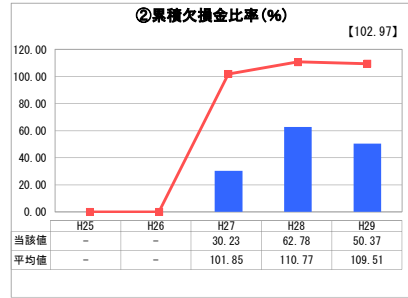
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
267,151	138.48	1,929.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,026	1.37	5,128.47

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

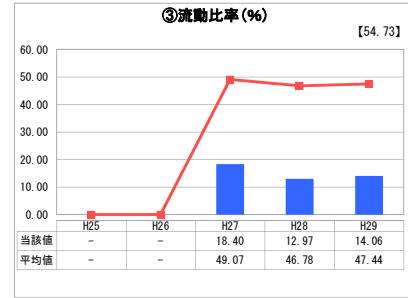
1. 経営の健全性・効率性



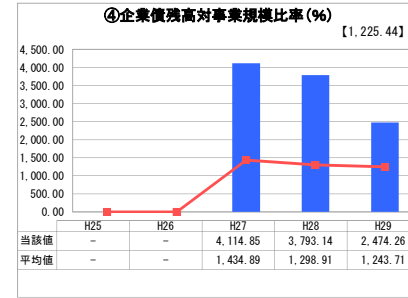
「経常損益」



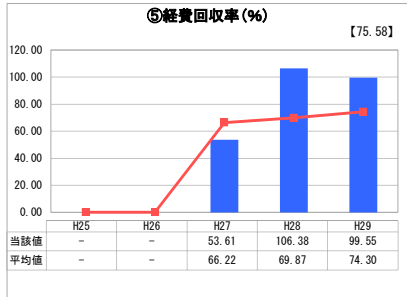
「累積欠損」



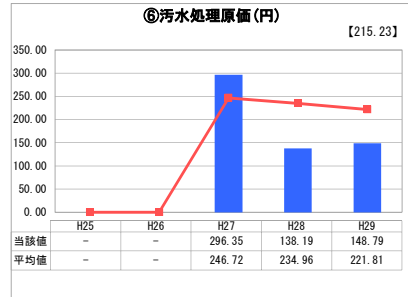
「支払能力」



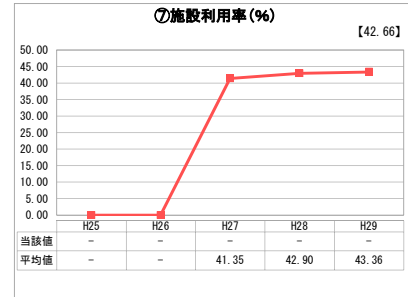
「債務残高」



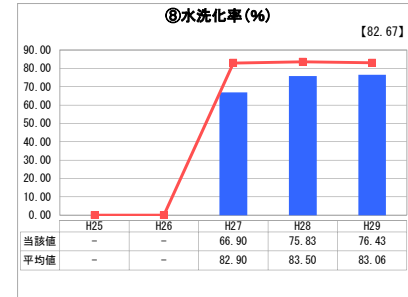
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

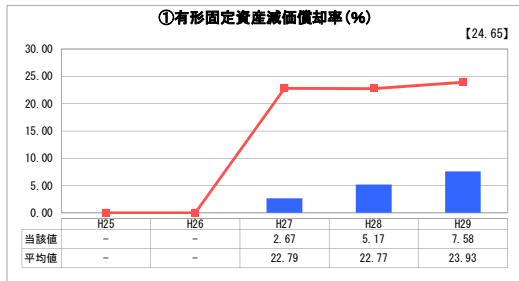


「施設の効率性」

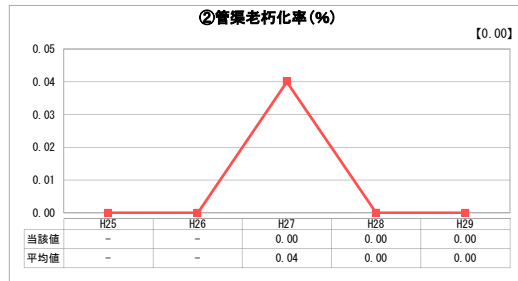


「使用料対象の捕捉」

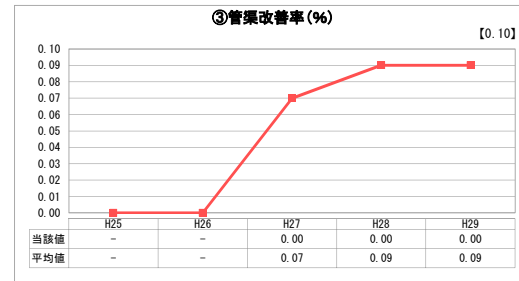
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・平成27年度から特定環境保全公共下水道事業に地方公営企業法を適用し、企業会計に移行した。そのため平成26年度以前の数値については、“-”となっている。また、「⑦施設利用率」も、終末処理場を保有していないため、“-”となっている。

・④企業債残高対事業規模比率
企業債残高の規模を表す指標だが、平成28年度に比べ数値は大きく低下（改善）しているものの、過去に実施した大規模投資に伴う企業債の借入により、依然全国平均や類似団体平均に比べ、数値は高い（悪い）。

・⑧水洗化率
下水道整備区域内における接続割合を示す指標だが、新規整備を進めており、接続者が増加していることから、数値は上昇（好転）している。引き続き水洗化助成金や下水道の果たす役割などを広報しながら、早期接続を促していく。

2. 老朽化の状況について

当該事業は、平成6年度から建設事業を開始し、約20年が経過した。下水道管渠の耐用年数は50年であり、現段階では管渠の老朽化について特段考慮する必要はないと考えられるが、今後とも適切な維持管理に努めていく。

全体総括

過去に実施した大規模投資に伴う企業債の償還により、財務体質はかなり硬直化しており、平成38年度までは、企業債の償還額が減少せず、一定の金額で推移するため、大幅な改善は難しい状況にある。現在、平成37年度の下水道整備概成に向けて、事業に取り組んでいるところである。まずは、一刻も早く未普及地域の解消に努めるとともに、⑧水洗化率を向上させ、使用料収入を確保することで、②累積欠損金を0%に近づけていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。